

平成17年
広報

にかほ

9月1日号

No. 1409

話題 町制施行50周年記念式典 ……2~3

絆絆都市交流2005 ……4~5

全町総合防災訓練を実施 ……6~7

日二国体サッカー競技開催 ……8~9

まちの話題/海風公園で夏のイベント他 ……10~11

ショーアップーバーさんの笑顔に会いたい ……12

編集・発行/仁賀保町役場 毎月14日・15日発行

ウォーターボーイズ ウォーターガールズ

夏休みも終盤を迎えた8月18日、真っ黒に日焼けした小出小学校の児童たちが町民プールに集合。週末の水泳大会に向けて、氣勢を上げていました。



町制施行五十周年と米国オクラホマ州シヨウニー市との姉妹都市締結十五周年、そして今年十月の新市誕生に伴う仁賀保町閉町という三つの節目を記念した合同式典が八月五日、勤労青少年ホームで開催されました。

式典では、仁賀保町が誕生してから五十年の歩みをビデオ映像で振り返ったあと、各分野で町の発展に寄与された二十四名の功労者

功労者のご紹介（敬称略）



畠山 朋一（中野）

仁賀保町教育長、芸術文化協会長などを務められ、教育行政や地方自治の発展に寄与された。



阿部 昭（杉山）

民生児童委員協議会長、国民年金委員などを務められ、民生安定や福祉増進に寄与された。



細矢 治助（院内）

町議会議員、農業委員などを務められ、地方自治の振興発展や農業の振興、福祉増進に寄与された。



齋藤 弘次（平沢）

納税貯蓄組合連合会副会長、民生児童委員などを務められ、納税意識の高揚や民生安定に寄与された。



鈴木 新太郎（堺）

公民館運営審議会委員、体育指導委員会副会長などを務められ、社会体育の振興などに寄与された。



佐藤 健（上小国）

国民健康保険運営協議会長、選挙管理委員長として、国保事業や選挙事務の正確な遂行に寄与された。



正木 末吉（冬師）

納税推進委員、統計調査委員などを務められ、統計業務の遂行や納税意識の高揚などに寄与された。



故 須田 馨（琴浦）

芸術文化協会副会長、秋田草刈唄全国大会実行委員長を務めるなど、民謡文化の発展向上に寄与された。



齋藤 和子（伊勢居地）

小出地区婦人会長、公民館運営審議会委員などを務められ、婦人の地位向上などに寄与された。



佐藤 京子（小国）

院内地区婦人会長、働く婦人の家運営委員長などを務められ、婦人の地位向上などに寄与された。



赤松 幸雄（伊勢居地）

納税貯蓄組合連合会長、体育指導委員などを務められ、納税意識の高揚や社会教育の向上に寄与された。



金子 潔（伊勢居地）

統計調査委員、手をつなぐ育成会会長、民生児童委員などを務められ、統計業務や民生安定に寄与された。

ふるさとへの誇りと感謝の思い新たに



町民歌の指揮は作詞・作曲者の豊島重孝氏
(由利本荘市)

を表彰したほか、一個人二団体に感謝状を贈呈。巴町長が「愛する町に誇りと感謝の念を新たに、先輩各位と町民のみなさんのこれまでのご協力で心から感謝申し上げます」と式辞を述べました。

最後の閉町セレモニーでは、町民歌を出席者全員で斉唱したあと、ステージ上に掲げられていた町旗が町内の小学生四名の手で降納され、巴町長が木箱に納めました。

感謝状贈呈者

(敬称略)

ダイアナ・ハロツク(ショウニー市書記)

おもちゃボランティア「メルヘン」(代表/大須賀てる子)

朗読ボランティア「さくら草」(代表/宮本久美子)



馬場久米雄 (横根)
納税貯蓄組合連合会副会長や行政推進員、保安委員として、納税意識の高揚や福祉増進に寄与された。



畠山 孝 (三田市)
統計調査員連絡協議会副会長、農業委員などを務められ、統計業務や農業の振興などに寄与された。



渡部 侃 (秋田市)
旧小出村当時から52年間に亘り、国保診療所長として、住民の健康増進と地域医療の充実に寄与された。



高橋昭治 (鈴)
統計調査員連絡協議会副会長、保健衛生委員などを務められ、統計業務や福祉増進などに寄与された。



川口 誠三 (三森)
町議会議員、行政推進員などを務められ、地方自治の振興発展や福祉増進に寄与された。



中村久三郎 (鈴)
人権擁護委員、民生児童委員などを務められ、町内はもとより県内の福祉増進や民生安定に寄与された。



増村澄生 (三森)
民生児童委員協議会長、農業委員などを務められ、地域の民生安定や農業振興などに寄与された。



遠藤トミ子 (芹田)
婦人団体連絡協議会長、社会教育委員などを務められ、婦人の地位向上や社会教育の向上に寄与された。



佐藤敦子 (上小国)
院内地区婦人会長、働く婦人の家運営委員長などを務められ、婦人の地位向上などに寄与された。



細谷妙子 (琴浦)
民生児童委員、人権擁護委員、国民年金委員などを務められ、地域の福祉増進や民生安定に寄与された。



小松幸雄 (百木)
町議会議員、青少年健全育成町民協議会長などを務められ、地方自治の振興発展や民生安定に寄与された。



大場ツヨミ (室沢)
民生児童委員協議会長として、地域の民生安定に努められ、住民の福祉増進に寄与された。

姉妹都市交流2005



8月4日、秋田駅でホストファミリーと対面



サンド・アート

平沢海水浴場



脇が甘い？

仁賀保中学校で交流

総出演！

太鼓の祭典で紹介



交流15周年 友好の絆を再確認

8月4日から9日までの6日間、姉妹都市・米国オクラホマ州ショウニー市から親善訪問団員23人が来町、町内15の家庭にホームステイして仁賀保の夏を体験しました。

平成2年の姉妹都市提携から、今年15年目の節目の年。

リンダ・ピーターソン副市長を団長とする団員たちは、「仁賀保町50周年・ショウニー市姉妹都市15周年記念式典」や「日本海に響け！太鼓の祭典」などのイベントに積極的に参加し、多くの住民と一っしょに記念すべき仁賀保の夏を過ごしました。



国歌斉唱（式典にて）

「ゲストとの体験はわが家の財産」

ホストファミリー体験記

訪問前の心配ごとや、訪問中の大変だなあと思う気持ちや、彼女達のすばらしい笑顔で、吹き飛ばしてしまいました。浴衣を着た時の、彼女たちの素直に喜ぶ姿が今も忘れられません。

佐藤 伸朗さん（横根）

出迎え当初は、戸惑いと不安のなか言葉の壁もありましたが、双方の心が通じてきて思い出に残る6日間となりました。交流を通じて我が家の財産と思い出が増えました。 戸蒔 静男さん（堺）

コミュニケーションとして、初めは一回のやり取りで終わってしまったが、一つの話で、長いやり取りができるようになったのが、一番うれしかったです。 佐藤 剛さん（室沢）

とにかく、子どもにとっても大人にとってもすばらしい体験学習の場であると感じました。 今野 弘樹さん（平沢）

受け入れ期間中、さまざまなイベントがあり、また、ゲストたちとの出来事も含め、一夏のよい思い出を残すことができました。

戸田 峰義さん（平沢）

太鼓の祭典の時に、ショウニーの子供たちと仁賀保の中学生たちが盛り上がっていました。言葉の通じているのはおそらく半分以下で、それでも冗談を交えながら一生懸命交流しているのが印象的でした。

金子 真一さん（両前寺）

ホストを務めるのは初めてなので、少しではありますが不安もありました。それが、秋田駅でギャレットとクリシャンに出会った瞬間、2人の笑顔が目飛び込んでくると、不安はどこかに消え去り、気がつくと握手をしていました。

貴重な時間を共有できたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。 堀 信夫さん（三森）



さよならアメリカの娘たち（8月9日）

世界が身近に

リンダ・ピーターソンさん

ショウニー市副市長

（8月5日式典でのあいさつ）



巴町長とターロン市長が始めたこの事業が、十五年目を迎えました。これは、訪問団の派遣交流にとどまらず、太平洋を越えた異文化交流の輪となつて広がりました。アメリカには「人は、本の中にあって学ぶのではない」という諺（ことわざ）があります。これまでに、訪問団に参加したり、受け入れられたり、また事業の関係者としてこれまでに交流に関わつてきた、数百名に及ぶ市民や生徒たちが、太平洋にかかるといって、文化交流の輪を広げてまいりました。 これまでの事業を通じて、世界がより身近なものとなりました。



世界で一番!

クリシャン・バルさん(右から2人目)

中学生代表

(8月6日歓迎昼食会でのスピーチ)

私たちの姉妹都市交流の目的は、教育、経済、社会の役に立つことです。 仁賀保とショウニーの中学生たちは、この交流から多くのことを学ぶことができました。この点では、日本やアメリカ国内だけでなく、世界中で私たちにかなう者はいないでしょう。 交流は私たちの将来を変えました。交流から学んだことを私たちの経済を支えるために役立てたいと思います。 秋に、(仁賀保からの訪問団と)お会いするのが待ち遠しいです。

全町総合防災訓練

9月9日(金)実施



「天災は忘れたころにやって来る」、災害はいつどこで起きるのかまったく予測できません。だからこそ、「備えあれば憂いなし」、身の安全を守るために日頃からの備えが大切です。

九月一日は「防災の日」。各地で防災訓練が実施されますが、町では九月九日(金)に、三年に一度の総合防災訓練を行います。

今回の主な訓練会場は、TDK 秋田工場、平沢海水浴場、琴浦・平沢集落地内、特別養護老人ホー

ム「楽しいわが家」、サイエンスパーク、スマイルなどです。

**午前6時「火災警報発令」
全町一斉にサイレン吹鳴**

地震などの災害発生を想定した

避難訓練を行います。町民のみならずは、集落等で行われる訓練に積極的に参加して、避難場所の確認、避難の方法、消火器・消火栓の使い方、応急手当の方法などを身につけてください。

サイレン吹鳴後、屋外拡声放送

装置による防災訓練についての放送があります。

**琴浦集落で津波避難訓練
平沢集落で避難・消火・救出
訓練を実施**

琴浦集落では、「地震発生によ

り津波の恐れがあるため、直ちに避難勧告が発令された」という想定で訓練を行います。屋外拡声放送装置のサイレンや避難勧告を合図に、指定された避難場所に避難してください。

サイレン吹鳴・拡声放送等スケジュール

時間	種類	サイレン・放送等の範囲
午前6時	サイレン(火災警報発令)	全町
午前9時10分	サイレン・拡声放送(津波避難訓練開始)	全町
午前10時40分頃	拡声放送(避難・消火・救出訓練開始)	青少年ホーム付近

平沢集落では、避難・消火・救出訓練を行います。勤労青少年ホームの屋外スピーカーからの避難誘導放送に従い避難場所まで避難してください。また、屋外消火栓を使った消火訓練も実施しますので、周辺の住民のみなさんは積極的にご参加ください。

訓練当日の主な日程

訓練時間	訓練項目	場 所	参加機関
6:00～7:00 8:30～16:00	自主防災訓練	各集落、保育園、幼稚園、各小中学校	各集落、各保育園、幼稚園、各小中学校、消防署、消防団
8:30～8:40	災害対策本部設置訓練	役場第4会議室	本部員
8:40～8:50	地域防災無線通信訓練	役場第4会議室	秋田県漁協平沢支所、勤労青少年ホーム、ガス水道事業所、各集落
8:55～9:00	訓練説明	合併協議会事務所前	
9:10～9:30	津波避難訓練	琴浦集落内 熊野神社	琴浦自治会自主防災会、地域住民
9:40～10:10	化学物質漏えい訓練	TDK秋田工場	TDK株式会社、消防署
10:20～10:35	水難救助訓練	平沢海水浴場	秋田県消防防災航空隊、消防署
10:40～11:10	避難・消火・救出訓練	平沢集落内 勤労青少年ホーム付近	平沢町内自治会防災会、消防団、地域住民
11:20～11:40	社会福祉施設火災訓練	楽しいわが家	楽しいわが家、消防署、消防団、危険物安全協会
11:40～11:50	ガス・水道施設復旧訓練	サイエンスパーク	ガス水道事業所、町内ガス工事指定店
11:50～12:05	倒壊建物救出訓練	サイエンスパーク	消防団
12:05～12:15	食料・生活物資供給訓練	スマイル	日赤奉仕団
12:15～12:35	講評・閉会式	スマイル	
12:00～13:00	非常食等の展示・試食	スマイル	

時間・内容は変更になることがあります。

TDK秋田工場で化学物質漏えい訓練、平沢海水浴場で水難救助訓練を実施

TDK秋田工場では、地震発生により工場内の化学物質が漏えいした、という想定で訓練を行います。従業員の避難訓練、化学防護服を着装した消防隊員による救助訓練などが行われます。

平沢海水浴場では、津波により釣り人が沖合に流された、という想定で訓練を行います。消防隊員による救命策を使用した救助訓練や、県消防防災ヘリコプターによる吊り上げ救助訓練など大規模な訓練が行われます。

サイエンスパークでガス・水道施設復旧訓練、倒壊建物救出訓練を実施

地震によりガス・水道施設に被害が発生した、という想定で訓練を行います。施設の調査・情報収集、復旧作業訓練を行います。また、消防団による倒壊建物の中からの要救助者の救出訓練、応急手当・搬送訓練が行われます。

楽しいわが家で火災訓練、スマイルで食料・生活物資供給訓練を実施

楽しいわが家では、地震により

火災が発生した、という想定で訓練を行います。入所者や職員の避難訓練、屋内消火栓を使用した消火訓練を行います。また、危険物安全協会による油火災消火訓練も行われます。

スマイルでは、町赤十字奉仕団による食料供給訓練が行われます。非常用に備蓄している食料の調理や、備蓄されている生活物資の展示が行われます。

訓練に伴い、次の公共施設が一般利用できなくなりますのでご注意ください。

サイエンスパーク（ターロン通り・駐車場）

9月8日(木)午前8時30分～9日

(金)午後1時

潮風公園駐車場

9月8日(木)午後5時～9日(金)正午

勤労青少年ホーム

9月9日(金)午前8時30分～正午

(図書室、トレーニング室は利用できません)

防災の3大鉄則

あなたの安全はあなた自身で守りましょう。
 家族の安全は家族みんなで守りましょう。
 地域の安全は地域ぐるみで守りましょう。